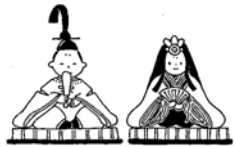


日に日に暖くなり、春の訪れを感じます。3月はひなまつり！  
親子でひな人形を飾ったり、お散歩にでかけて楽しみたいですね！



3月3日は  
ひなまつり



Q. ひな人形を飾るのはなぜ？

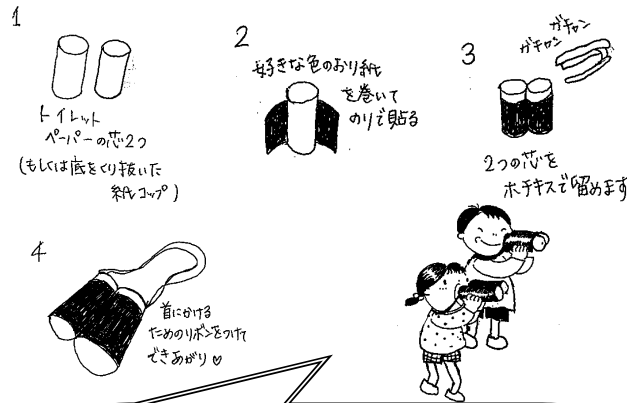
昔は病気や悪いところを人形にうつし、川や海に流しました。人形が身代わりとなって、子どもを守ってくれることを願ったのです。

桃の花や菱餅、白酒、ひなあられなども一緒に飾ります。「桃の節句」という名で親しまれています。

♪ うれしい ひなまつり ♪

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| ①あかりをつけましょぼんぼりに | ③金のびょうぶにうつるひを |
| お花をあげましょ桃の花     | かすかに揺する春の風    |
| 5人ばやしのだいぶ太鼓     | 少し白酒めされたか     |
| 今日は楽しいひなまつり     | 赤いお顔の右大臣      |
| ②おだいきさまとおひなさま   | ④着物をきかえて帯しめて  |
| 2人並んですまし顔       | 今日は私もはれ姿      |
| お嫁にいらした姉さまに     | 春のやよいのこのよき日   |
| よく似た宮女の白い顔      | なによりうれしいひなまつり |

**双眼鏡を作って  
お散歩に出発！！**  
～親子で作ろう！手作りおもちゃ～



暖かくなると、土の穴や草むらからアリやてんとう虫が顔を出します。子どもたちと一緒に春探しのお散歩にでかけてみてね。

**「イヤイヤ」ダダコネは大事な発達！**

自分の足で立ち上がり、歩みはじめた子どもたちは、「これが私よ」「ほくをみて」とばかりに一人前に自分を主張しようとします。色んなことを自分でやりたがり、止められると「イヤ！」と叫び、あるいはひっくり返って怒ります。大人に余裕のあるときなら、こうした姿もほほえましいのですが、忙しくて気持ちに余裕のない時に限って「イヤイヤ」ダダコネも強くでがちです。

大人からすると、とても困る「イヤイヤ」ダダコネですが、これは赤ちゃんを卒業して「自分」を出し始めた発達の大切な姿です。

**子どもが好きな虫や植物の絵本。  
親子で心を通わせて楽しんでみませんか？**



松岡達英 絵・作 小学館

「だんごむし そらを とぶ」  
地面の上をコロコロころがるだんご虫。ある日空を見上げて考えた。「ほくも空を飛びたいなあ」そしてだんご虫は空飛ぶマシンを作って、空を飛ぼうとチャレンジします…。たくさん  
の虫たちも登場する創作科学絵本です。

**「たんぽぽ」**

身近な植物、タンポポの生態のふしぎさ、そのたくましさなどを、長年にわたる観察と写生をもとに見事に描きま  
す。実物大に描かれた80センチをこえるタンポポの根は  
圧巻！



平山和子 絵・作 福音館書店



栗原 慧 写真 福音館書店

**「アリからみると」**

世界初、栗林慧さんの発明による特殊レンズでアリの世界に入ると、今まで見られなかった世界が広がります。度肝を抜く写真の連続、虫の世界は不思議で面白い！